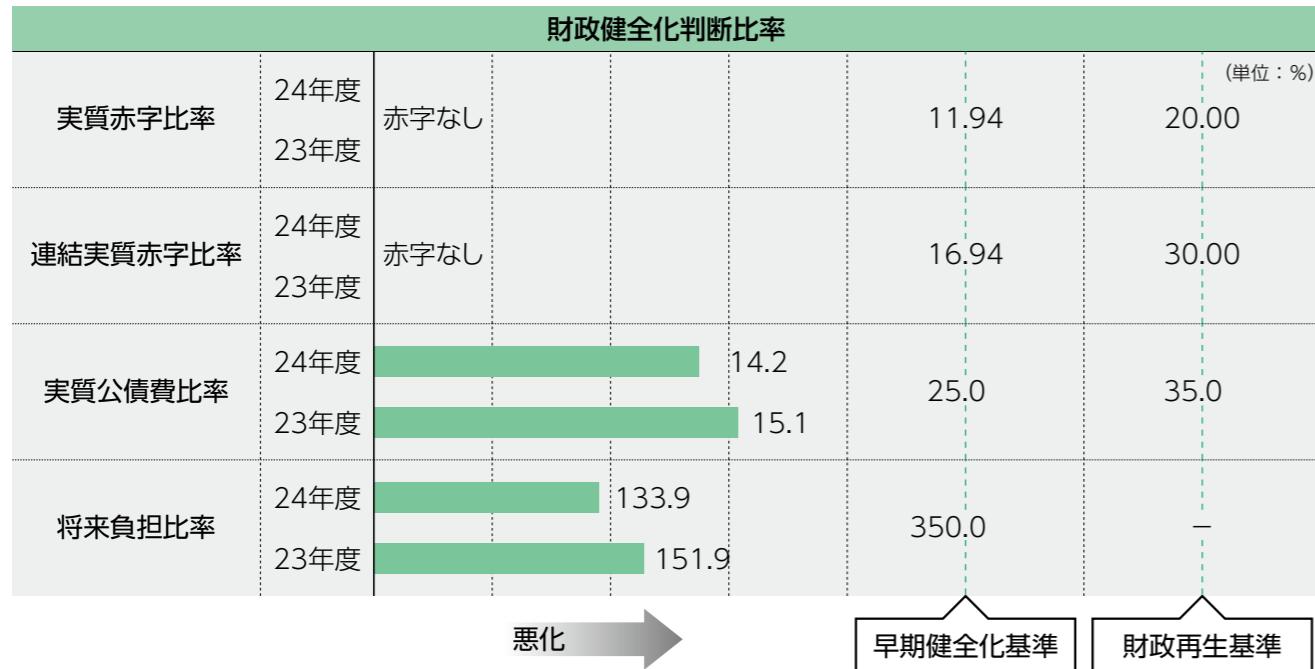


財政健全化判断比率と資金不足比率の公表

問財政課☎32-2020

市の平成24年度決算に基づく算定の結果、健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）、資金不足比率ともに早期健全化基準、経営健全化基準を下回りましたが、基金を取り崩すなど、市財政は、依然として厳しい状況となっています。



用語の説明

実質赤字比率
福祉、教育、まちづくりなどを行う普通会計などの赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すもの

連結実質赤字比率
すべての会計の赤字や黒字を合算し、赤字の程度を指標化し、市全体の財政運営の深刻度を示すもの

実質公債費比率
普通会計、特別会計などの借入金の返済額などのうち、普通会計が負担する額の大きさを指標化したもの

将来負担比率
普通会計の借入金残高だけでなく、将来支払っていく可能性のある負債などの現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すもの

財政再生基準
基準を超えると、国の関与による確実な再生を行うため、財政再生計画の策定などが義務付けられる

早期健全化基準
基準を超えると、自主的な改善努力によって財政を健全化するため、財政健全化計画の策定や外部監査の要求などが義務付けられる

資金不足比率
公営企業の資金不足を公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化して、経営状況の深刻度を示すもの。経営健全化基準（20%）を超えると経営健全化計画の策定や外部監査の要求などが義務付けられる

公営企業会計の資金不足比率

市の公営企業会計は7つあります。

- ・津山市水道事業会計
- ・津山市工業用水道事業会計
- ・簡易水道事業特別会計
- ・食肉処理センター特別会計
- ・下水道事業特別会計
- ・農業集落排水事業特別会計
- ・土地取得造成事業特別会計

平成24年度の決算では、いずれの会計でも資金不足は発生しませんでした。



指標の公表について

自治体の財政破綻を未然に防ぎ、財政状況の悪化した団体に対して早期健全化を促すため、平成19年度決算から、財政判断指標（健全化判断比率、資金不足比率）を公表することが義務付けられています

つやまっ子未来債を発行します

問財政課☎32-2020

市では、今年度も住民参加型の市場公募債「つやまっ子・未来債」の発行を行います。

公共施設の建設など、大規模な事業を行う時には、市債を発行するなどして国や銀行などから資金を調達しています。「つやまっ子・未来債」は市債の1つで、市民の皆さんから資金をお預かりして、津山の未来を担う子どもたちのための事業の財源としています。

今年度は、市内草加部地区に予定している東部学校給食センター建設事業などに活用します。



給食を食べる林田小学校の児童

発行総額	2億円
募集期間	12月11日(火)～20日(金)（金融機関休業日は除く）先着順。売切れ次第終了
利率	12月10日(火)決定（国債利回りを参考に若干上乗せして決定）
利払日	半年毎（6月25日・12月25日）
発行日	12月25日(水)
償還年限	5年満期一括償還。償還日は平成30年12月25日
購入対象	市内に在住または通勤する20歳以上の個人、または市内に営業拠点などのある法人
購入限度額	1人（事業者）10万円～500万円（10万円単位）
取り扱い金融機関	津山信用金庫の本店・市内各支店
必要書類など	購入時に取り扱い金融機関窓口へ預金通帳、通帳の印鑑、身分証明書（運転免許証・健康保険証など）をお持ちください

※発行に関することなど、詳しくはお問い合わせください

小・中学校の耐震化の状況

問学校施設課☎32-2113

市教育委員会では、安全・安心な学校づくりのため、平成26年度までの予定で、小・中学校の校舎などの耐震化工事を実施しています。

平成24年度末現在の耐震化率は79.7%で、平成25年度以降に実施する工事の予定は、次のとおりです。耐震化工事の際に、学区や近隣の皆さんにはご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いします。



実施年度	学校名（施設名）
平成25年度	鶴山小学校（体育館）、向陽小学校（体育館）、佐良山小学校（体育館）、広戸小学校（体育館）
平成25年度～平成26年度	鶴山小学校（校舎）、向陽小学校（校舎）、院庄小学校（校舎）、高野小学校（校舎）、津山東中学校（校舎）、北陵中学校（校舎）、鶴山中学校（校舎）、津山西中学校（校舎）
平成26年度	弥生小学校（校舎・体育館）、院庄小学校（体育館）、高倉小学校（校舎）